

01 教会ニュース

いやし、答え、そして変化と希望！

「2017年万民夏のキャンプ」初日のいやしの集会の時、堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを通して現れた爆発的な力あるわざ

02 いのちのみことば

いばらの冠をかぶられた摂理

イエス様は苦しみはいばらの冠をかぶって血を流されて人が思いで犯す罪を贖ってくださり、天国の冠を備えられた。

03 特集

闇から抜け出して光へと…

人の身と心に大きい苦しみを与える精神疾患の根本的な原因は何か。夏のキャンプのいやしの証しを通して霊の世界を調べてみよう。

支教会10月スケジュール

04 証し

「神の力あるわざ、本当に驚くばかりです」

病気がいやされ、闇の勢力から解放され、人の根本の心が変えられた聖徒たちの幸せな証しで神に栄光を帰

万民ニュース

第179号 2017. 9. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

できないことのない神の爆発的な力が繰り広げられた 「2017年万民夏のキャンプ」いやしの集会



今年は海外37か国から参加した中、「神の力」というテーマで8月7日から10日まで全羅北道の茂朱(ムジュ)徳裕山(トギョサン)で開かれた。風と雨、雲で最適の天気を作られ、周りの地域には高温注意報が

出たのにキャンプ場は涼しく快適で、初日のいやしの集会の時、爆発的な神の力あるわざが現われて、人の子らに向けられた神の善と愛を体験した。

講師イ・ジェロク牧師は現代人に

増えている精神疾患のいやしのために特に祈った。その結果、韓国内外の多くの人がいやされて神に栄光を帰し、聖徒たちは罪と悪がはびこった終わりの時にさらに目を覚ましていて、光の中にとどまる御霊の戦士に

なろうと心を固めた。

この他にも粉碎骨折、顔面麻痺、甲状腺機能低下症、突発性難聴などの病気がいやされ、世界各地から来た聾啞者の耳が開かれて、神に大いに栄光を帰した。



「万民は完璧でした」

アレクサンドル・サモフ牧師
(ロシア・カリーニングラード地域総会長)

私は昨年「万民夏のキャンプ」に初めて参加して、霊的なショックを受けました。教会が組織的に整備されてい

て、すべてが完璧だったし、働き人と聖徒が教会と牧者を愛して、心尽くして献身している姿を見ました。また、主のしもべはもちろん、聖徒がダニエル徹夜祈禱会に出席して、毎日熱く祈っている姿が驚きでした。

今年も万民夏のキャンプに参加して、万民教会をさらに深く知るようになりました。全聖徒が堂会長イ・ジェロク牧師を通して現れる不思議としるし、聖霊のみわざを慕う心がどれほど大きいか感じられたし、その慕う心と信仰が堂会長先生の神の力ある祈りと信仰と一つになって、多くの不思議としるし、力あるわざが起こりました。

初日の教育のメッセージは非常にす

ばらしかったし、いやしの集会の時、悪霊を追い出す祈りと悪霊が出て行くみわざを見て、大いに学びました。堂会長先生が一つ一つの過程、すなわち、悪霊がなぜ入って、どうしてこのようなしわざが起こるようになり、どう追い出すのか、その方法まで詳しく説明されるのを聞いて、とても恵みを受けました。その他にもさわやかで快適な風と気温の調節など、驚くべき不思議、しるしと神の力あるわざが現われたし、堂会長先生の祈りを通して数多くの人がいやされて証しをする姿を見て、私も一緒に恵みを受けて幸せでした。

二日目の体育大会の時は、聖徒が一つの心で動いているということが感じ

られました。本当に万民中央教会は愛で一つになっていました。

三日目、キャンプファイヤーに参加して、華やかで美しい舞台を見ながら驚きました。どうやって一教会でこんな大きい行事を組織的に運営できるのか、本当に驚きでした。技術と舞台、照明と音楽など、すべてが組み合わせられた華やかさだけでなく、その中に込められた霊性は大きな感動を与えてくれました。

私たちの教会の聖徒も、万民中央教会の聖徒のように心から神様を愛するようになればと思います。この聖潔の福音がさらに広く宣べ伝えられるように願っています。

いばらの冠をかぶられた摂理



堂会長イ・ジェロク牧師

「兵士たちはイエスを、邸宅、すなわち総督官邸の中に連れて行き、全部隊を呼び集めた。そしてイエスに紫の衣を着せ、いばらの冠を編んでかぶらせ、」
(マルコ15:16-17)

なければならなかった。長くてきついとげがイエス様の頭に食い込むと、肉が裂ける苦しみとともに顔は血で染まった。このようにいばらの冠をかぶって血を流された理由は、人の思いで犯す罪を赦して下さるためである。

人の頭には知識を入れて活用できる記憶装置がある。人が生まれてから見て聞いて学んだことが感じとともに入力されるが、これがまさに知識である。人によって成長した環境と学んだことが違い、同じ環境で同じ人に教えを受けても、各自がどんな感じで受け入れたかによってその価値観と善悪を判断する基準も違ってくる。

このように知識が必要に応じて再生して出て来るものを「思い」と言うが、人ごとに知識が違うので、同じ場面を見ても違うように思う。それで、ある国では教養ある行動が他の国では礼を欠いた行動になったりもする。また、サタンが人々の思いを支配するので、真理と合わないことがほとんどである。

たとえば、誰かがほめられれば、サタンは心にある真理でないものに働きかけて、不満を持ったり気を落としたりさせる。しかし、真理の知識があれば、サタンが思いを支配できないので、真理を喜ぶことができる。それで、みことばをまめに聞いて糧とし、霊とまことによって礼拝をささげて、ただ「はい」と「アーメン」と言って心に受け入れ、自分を変えさせていかなければならない。

2. 思いで犯す罪を根本的に捨てて御霊による思いをするには

みことばを聞いて自分の思いに合えば「アーメン」と信じる。しかし、自分の知識と経験に合わなければ、信じられず、そのみことと反対になることを思うこともある。たとえば、イエス様が神の摂理のうちに多くの苦しみを受けて殺された後、三日目によみがえることを弟子たちに教えられると、ペテロが「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」と言う。この時、イエス様はペテロに「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のこと

を思っている」(マタイ16:23)と言って叱られる。これは師を愛するようだが、実は神に対して反抗する肉の思いだからだ。

このように神のみことと反対になる思いを「肉の思い」と言う。肉的には賢くて良いと思えるが、サタンが与える思いなので、神に対して反抗し、神と全く関わりがない。〈ローマ8:7〉に「というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。」とあるとおりである。したがって、みことばを信じないようにして、聞き従えなくする肉の思いを捨てるためには、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させなければならない(第二コリント10:5)。

私は神を見つけた後、聖書に記された神のみことばを疑ったことがない。私の病気を直して下さった神の力を体験したので、神のみことばを完全に信じて、その命令どおりに行った。また、神の全能であられることを信じたので、どんな状況でもただ祈りで神だけにより頼むと、驚くべきみわざを施して下さった。肉の思いを巡らせないで神にだけより頼めば、必ず働いてくださる。

それなら、私たちが主を信じて罪を赦された後、思いで犯す罪を根本的に捨てるためには、どうしなければならぬだろうか。心をきよくしなければならぬ。〈第一ヨハネ2:16〉に「すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。」とある。

心に悪があって、世を追い求める属性がぎっしりあるなら、肉の思いが浮び上がるものだ。肉の欲があれば、世にあるものを追い求めて手に入れ、肉の欲がさらに深くなれば、肉の行いをしたくなる(ガラテヤ5:19~21)。目の欲とは「目で見て耳で聞くことを通して心が揺れ動き、肉に属するものを追求させる属性」である。このような目の欲のために人々はさらに世的で情欲的なものを追求していく。暮らし向きの自

慢とは「現実のすべて享楽を追い求めて、自分を目立たせるために自慢しようとする属性」である。これによって高められて認められようとし、名誉と権威などを手に入れようとするのだ。

このような肉の欲と目の欲、暮らし向きの自慢を捨ててこそ、根本的に心がきよくなり、神が喜ばれる御霊による思いができる。

3. 将来天国で美しい冠をかぶれるように備えられた神

イエス様がいばらの冠をかぶって血を流して下さったので、誰でも思いで犯した罪を赦されて、将来天国で美しい冠をかぶれる道が開かれた。この地上でどんな生き方をしたかによって、いろいろな冠が用意されている。

たとえば、主を受け入れて真理を聞いて罪と戦って捨てようとして努力した人には「朽ちない冠」(第一コリント9:25)、罪と戦って捨ててみことばどおり生きながら神に栄光を帰した人には「栄光の冠」(第一ペテロ5:4)、神を愛して死に至るまで忠実であり、悪はどんな悪でも避けて聖められた人には「いのちの冠」(ヤコブ1:12; 黙示録2:10)などが与えられる。また、完全に聖められて神に喜ばれる信仰によって使命を立派に果たした人は「義の栄冠」(第二テモテ4:8)を受けることができる。

〈黙示録4:4〉には「金の冠」が記されているが、これは完全に聖められて全家を通じて忠実であり、永遠に変わらない純金のような信仰を持った人々に与えられる。愛なる神はどれほど聖められて忠実であったかによって、それぞれ違う冠を報いとして備えておられるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

イエス様はいばらの冠をかぶって血を流されることによって人が思いで犯す罪を贖って下さった。将来、私たちが天国で美しい冠をかぶれるように備えておられる。神に対して反抗する肉の思いを徹底的に打ち砕いて、御霊による思いをして完全に聞き従い、天国で太陽のように輝く栄光を受けられるように、主の御名によって祈る。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048



**「自閉症の息子が
いやされて変わりました」**

ユリア・コレロバ聖徒
(41歳、イギリス)

私の息子は自閉症のため、どこかに頭をぶつけて大声を出し、よく怒りました。親が呼びかけても反応しなかったし、周りで何が起きているのかも認識できませんでした。言葉にならなくて、まるで動物のように「ウウ！オオ！アア！」という声だけ出していました。こんな息子の面倒を見るのに私たちは疲れきっていたのです。昨年、万民夏のキャンプに参加した後、息子は大声を出さないし、私と主人が呼びかけても反応するようになりました。ドアを閉めてと言えばドアを閉めるし、雨や雪が降っても認知できなかった子が「雨！」「雪！」と言ったのです。どんな食べ物なのか見分けて言葉で表現さえしました。

今年のキャンプのいやしの集会の時に祈りを受けた後は、前よりはるかに良くなって、ベルトをひとりで締めて、私たちをパパ、ママと呼んで、自己表現もするようになりました。何より息子の顔に幸せな笑みがいっぱいです。いやして下さった神様に感謝いたします。



**「神の力の光でうつ病が
いやされました」**

シン・ヤングム姉妹
(23歳、韓国西プサン万民教会)

私は16歳の時からうつ病で不安、焦燥感となぜかわからない暗い心をかかえ、毎晩金縛りにあって、無気力で神経精神科を転々とし、薬に頼って生きていました。私は命を断とうと二回も自殺未遂をしました。そうしていた今年6月、イ・ヒソン牧師先生(万民全支教会総指導教師)のハンカチの祈り(使徒19:11~12)で闇が抜けて行った後、からだの具合が悪いこともなく、悪夢も見なくなりました。少し後には、背中が揺れるほどお腹で何かがのたくると、丸い形の黒い煙のようなものが口へと抜けて行きました。

私はさらに完全にいやされるためにキャンプを慕って備えました。その1週間前の夢で堂会長先生が私の頭に接手の祈りをされた瞬間、赤い花火が見えて、その後青い花火が頭からつま先まで貫通するような感じがしました。私はいやされたことを確信したし、キャンプの初日、堂会長先生の祈りで完全になったのを感じて、証して栄光を帰しました。ハレルヤ！



**「てんかん、足の痛みなど
悪霊のしわざから解放されました」**

パク・ウンヒョン勸察
(47歳、韓国2大大15教区)

私は以前から脚が痛かったし、てんかんの症状がありました。いやされるために悔い改めたとはいえ、みことばどおり生きていないからまた脚が痛くなり、松葉杖にも頼らなければなりません。そのうちに堂会長イ・ジェロク牧師先生が今回のキャンプは特に精神疾患や悪い霊から解放放されていやされるみわざがたくさん現れると言われたので、私はさらに心を込めてキャンプに備えました。

朝断食をしながら堂会長先生の説教「十字架のことば」を聞き、万民祈禱院のいやしの集会に参加して悔い改めて祈りました。ある日、映像で堂会長先生のいやしの祈りを受けていたのですが「あたし出て行かない！あんたキャンプに行かせない！いやしの祈りが出て来ないよにあの機械を壊してしまえ！」という声が聞こえて頭が痛くなったのです。その時はじめて私の中に闇の勢力がいることを知りました。

いよいよキャンプ初日、講壇で堂会長先生が祈ってくださるとき、私のからだは震え始め、恐ろしくて頭が割れるほど痛くてボーとなりました。後でわかったことですが、私の中にいた悪霊は、学校時代にいじめにあって、いつも疎外されていて孤独に耐えきれなくて自殺した人の悪霊だったそうです。私自身がいつも虐待されていてひとりだったという心に、否定的な思いと死にたい気持ちでいっぱいだったので、私に入って来ることができました。

私には人生の意味がなくて、無気力な心で見てもならないものを見て、それにはまっていました。ある日、私にひそひそ囁く声に慰めと温みを感じて悪霊を受け入れるようになったのです。でも、牧者の行う神の力で悪霊は出て行ったし、てんかんの症状はもちろん足の痛みもなくなって、全然不自由なく歩いて走れるようになりました。ハレルヤ！



**「家内を変えさせた牧者の行う神の力、
感謝しています」**

チョン・チュンチョン聖徒
(29歳、マレーシア)

家内(リュ・イウォン)はいつの頃からか口臭がとてひどくなったのですが、神経質になった時や怒った時は臭いはさらにひどくなりました。礼拝時間に説教を集中して聞けず、あまり祈れないだけでなく、記憶もよくできませんでした。

家庭環境が良くなかった家内は母がダウン症候群の弟だけ面倒を見ていたので、自分はいつも孤独で拒絶されていると思っていたそうです。誰も自分を愛していないと思い、すぐ人をねたみました。そうするうちに19歳の時、母が子宮がんで亡くなって、悲しみと恐れに包まれて生きてきたし、家には竜をはじめとするいろいろな形を描いたお守りを貼っておきました。こんな背景の中で家内は訳もなくよく怒ったし、自分をコントロールできなかったのです。人を殴って、それどころか首を絞めて殺したいというぞっとすることまで考えたそうです。

そんな家内が堂会長イ・ジェロク牧師先生のいのちのみことばを聞いているうちに、自分の中に何かが存在しているということを悟ったし、キャンプの前の週、金曜日からはとても不安になって、助けてと言いました。私は家内のために祈って、慕う心でキャンプに備えました。

いよいよキャンプの初日、堂会長先生が祈ってくださったのですが、家内が耳をふさいで、からだをやたらに震わせて大声で叫び始めました。赤ん坊のように「ママ！ママ！」と言いながら捜しました。すぐに赤ん坊悪霊が現れたのです。そして、その赤ん坊を殺して自殺した母親悪霊も現れました。けれど、牧者の行う神の力によって悪霊が出て行くと、家内の表情は以前とはあまりにも違って明るくなりました。

一生闇の霊に苦しめられて苦しむしかなかった家内を牧者の再創造の力で解放させてくださって、まことの平安を下された父なる神様に感謝いたします。

10月支教会スケジュール

10月15日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・マルコ牧師)	10月25日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし聖会(講師:総指導教師 李ヒソン牧師)
10月15日(日)	大阪万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・モニカ牧師)	10月27日(金)	東京万民教会	創立9周年記念礼拝(講師:総指導教師 李ヒソン牧師)
10月15日(日)	東京田端万民教会	特別いやし聖会(講師:鄭 庚泰牧師)	10月29日(日)	山形万民教会	創立20周年記念礼拝と聖霊充滿祈り会(講師:総指導教師 李ヒソン牧師)
10月22日(日)	名古屋万民教会	創立23周年記念礼拝・癒し聖会(講師:総指導教師 李ヒソン牧師)			

海外8か国から参加した聾啞者の耳が開かれ

「2017年万民夏のキャンプ」にはドイツ、ラトビア、デンマーク、フェロー諸島、オーストリアのヨーロッパ5か国とマレーシア、タイ、中国の計8か国から映像(ネプシス多重映像サイト)で堂会長イ・ジェロク牧師の説教を聞いて信仰を育ててきた聾啞の聖徒たちが慕って参加した。

いやしのみわざを待ちこがれていたキャンプ初日のいやしの集会の時、イ・ジェロク牧師が全体のためにいやしの祈りをしたとき、はたして彼らにも驚くべき聖霊のみわざが起きた。

ホサウホン聖徒(女,56,マレーシア)は偶像を捨ててキャンプに参加し、全く聞こえなかった右耳が聞こえるようになり、かすかに聞こえていた左耳はもっとよく聞こえると幸せそうに証した。3歳の時、熱病で聾啞になったユクジェク・ラモンドゥス聖徒(男,30,ラトビア)はキャンプに初めて参加して右耳が聞こえ始め、

左耳は以前よりさらによく聞こえると証した。またハンス・ウェイヘ・ハンセン(男,32,フェロー諸島)、メイブリッド・ウェイヘ・ハンセン(女,39,フェロー諸島)は一昨年、昨年のキャンプに参加して両耳が開かれる祝福を受けたが、姉のメイブリッド聖徒は今回さらによく聞こえるようになった。

タヒ・チトゥテ聖徒(女,60,デンマーク)は両耳の補聴器をはずしてもよく聞こえるようになり、プルラスレベカ・バーバラ聖徒(女,47,ドイツ)は音が聞こえるようになり、先天性聾啞だったタンアカン・タンティシッティチャイ聖徒(女,33,タイ)はかすかに聞こえるようになったが、今はもっとよく聞こえるという。

この他にも、先天性聾啞チュ〇〇聖徒(女,5,中国)は左耳が開かれて湿疹と子宮の冷えがいやされ、チン〇〇聖徒(女,53,中国)とチン〇〇聖徒(男,53,中国)は両耳が開かれた。また、ネビグス・エルビス(男,22,ラ



トビア)、ルネ・サニタ(女,27,ラトビア)、ヤシトン・コンカワン(男,22,タイ)、パンダインスワノン(男,22,タイ)、パンティサティサン・バンハン(男,42,タイ)、プロムブラセン・ラッタカン(男,35,タイ)、トゥンタカン・スパブン(女,57,タイ)、チン・ホクレン(男,41,マレーシア)、ラウ・ウクピン(女,30,マレーシア)、ロ・シシン(女,38,マレーシア)、リウカル・ポンドゥ(男,23,マレーシア)、オ・ソヒョン(女,26,韓国)、チェ・チュンファ(女,45,韓国)ほか多くの聖徒の耳が初めて開かれたり、以前よりよく聞こえるようになって喜びの証しで三位一体の神に栄光を帰した。



「メガネなしにはっきり見えて、脊椎結核の後遺症もいやされました」

ナンシー聖徒(24歳、インド)

私は万民夏のキャンプを控えて、答えられていやされるために堂会長イ・ジェロク牧師先生の著書『十字架のことは』と『いやす主』を読んで、断食と祈りで備えました。

いよいよキャンプの初日、信仰によっていやされるために10歳の時からかけていたメガネをはずして教育に参加しました。いやしの集会の時、堂会長先生の祈りを受けた後、はっきり見えるようになりました。

メガネがなくても遠くのものが見られたし、とても小さい字もきれいに見えたのです。これだけではなく、脊椎結核の後遺症による痛みがいやされて、主人と一緒にキャンプファイヤーの時、立って賛美をしても全く痛みがありませんでした。ハレルヤ！



「粉碎骨折がいやされて松葉杖なしで歩けるようになりました」

パウ・チョムオク勸士(55歳、チャンウォン万民教会)

今年2月、階段から転がり落ちて、足首の骨2本が完全に折れて13個になって、ひじの骨は粉々になり、左指の靭帯が切れるなど、大けがをしました。お医者さんは重傷だ、手術を数回受けても障害が残ることもあると言いました。

神の力が込められたハンカチ(使徒19:11~12)で祈りを受けた後、痛みがなくなって出血が止まりました。堂会長イ・ジェロク牧師先生に祈りを受けた後は立ち上がったし、からだが軽く感じられました。

8月7日キャンプの初日、いやしの集会の時、祈りを受けた後は松葉杖なしに歩けたし、皮膚から飛び出していた脚の骨も元に戻りました。ハレルヤ！



「両脚の皮下にある静脈が生き返って皮膚の色が変わって痛みがなくなりました」

シュロミ・アブラモフ牧師(59歳、イスラエル)

私は両脚の皮下にある静脈が死んでいる状態でした。脚のむくみがひどくて血液循環も悪く、脚の皮膚の色が真っ黒に変わっていました。イスラエルから韓国に来る前まで杖をつけていましたが、神様はインチョン空港に到着してからは杖なしで歩けるようにしてくださいました。

8月4日(金)、イ・ジェロク先生に祈りを受けた後、真っ黒だった脚の皮膚の色が変わったし、静脈の部位の圧迫がなくなって感覚が戻りました。キャンプに参加してさらによくなって、体育大会の時には綱引きの選手として出場して、主にあって幸せな時間も持ちました。牧者が行う神の力は本当に驚くべきです！



「ストレスでいつも下腹部が張っていたのですがいやされました」

渡辺江里奈姉妹(22歳、日本)

昨年11月から下腹部がいつも張っていました。デザイン勉強をしながら受けたストレスが原因でした。いやされるために自分の姿を顧みて悔い改め、祈りでキャンプに備えました。はたして初日、堂会長先生のいやしの祈りを受けて症状が全部なくなって、キャンプの間中とても楽でした。

信仰の弱い私にも働いてくださるとは、とても感謝しています。これからみことばどおり生きて、信仰生活も一生懸命にします。



「空港に到着した瞬間、五歳の息子の胃炎がいやされました！」

クオチェンス聖徒(45歳、シンガポール)

私の息子(5歳)は2年半以上咳をよくして、頭痛と熱があったし、ご飯を食べればしょっちゅう吐いていました。お医者さんは胃炎だと言いました。薬や病院治療はもちろん民間療法まで使っても、息子の症状はよくなりませんでした。

ところが、インチョン空港に到着した時から、驚くべきことに子どもが食事もちょうとして、以前の症状が全部なくなっただけでなく、韓国にいる間全く疲れることもなく元気でした。ハレルヤ！



「腰と足首の痛みがなくなって全身が軽くなりました」

チェ・エブゲニヤ聖徒(43歳、エストニア)

あまりにも来たかった韓国の万民中央教会に来て、堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教を聞いてとても幸せだったし、非常に多くの恵みを受けました。それだけでなく、キャンプの初日、いやしの集会の時、堂会長先生に祈りを受けた後、腰と足首の痛みがいやされて全身がとても軽くなりました。

父なる神様の愛がいっぱいで祝福があふれている空間の中で、万民教会のすべては印象的で非常にすばしかったです。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472